



ROTARY INTERNATIONAL

1996年 1 月 20日

No. 8

# Governor's Monthly Letter



クラブ会長・幹事殿控

## 『世界理解月間』 — 2 月

May peace encircle your heart and your home this Holiday Season



R.I. ブラウン会長より家族揃っての写真と新年のメッセージ

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 石川和昌 / DISTRICT 2760 Governor Kazumasa ISHIKAWA

〒440 豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内 PHONE (0532) 53-0666 FAX (0532) 53-0667

# “世界平和を願い、家庭の大切さに思いを 2月—家庭と地域社会週間に参加しよう”

国際ロータリー第2760地区  
ガバナー 石川 和昌

地区内ロータリアンの皆様、ご家族共々1996年の新春を健やかにお迎えのことと存じます。R.I.ブラウン会長も家族揃っての写真と新年のメッセージを送って来られました。早速、ガバナー月信の巻頭を飾らせて頂きました。ご承知の通りブラウン会長は今年三つのテーマを掲げ、全世界のロータリアンはこれに就いて立ち上がり、既に半年を経過しました。

この半年を振り返ってみますと当2760地区においては全クラブがブラウン会長の特別な挑戦に参加し、会長賞の獲得に燃えておられます。7月12日の東海RCに始まり、12月19日瀬戸北RCで終わった公式訪問ではロータリアン皆さんの熱意を肌で感じる事が出来、ご歓迎と共に有難心から感謝申し上げます。

特に最重点目標である会員増強については女性会員に関心が高く、中でも特筆すべきは地区内で最も増強が困難とされていた奥三河RCが一挙に3名の女性会員を増強されたことでした。

会員増強は会長賞への挑戦基準期日1月1日で終わるものではありません。更に3月15日迄の増強数もカウントされることになりました。年度末の6月30日までご尽力下さい。

拡大は豊橋南RCと名古屋名北RCが新クラブ結成に向かって着々と準備を進め、年度後半の成果が期待されています。

1月はロータリー理解推進月間に当たります。折角新しく入会された会員が途中で挫折し退会することが無いよう、また1日も早く同化し皆さんと同水準のロータリアンになられるよう努力して下さい。それがロータリアン一人一人の

義務であります。

ポリオプラスについてはロータリー創立100年のポリオ絶滅宣言に向け、認識を深め、その意義を理解して頂きました。年度後半の協力要請に力強く応えて頂けるものと期待しております。

平和に対しブラウン会長は私達が平和への思いを心に宿し、健全な家庭づくりに貢献するよう要請されています。家族全員の平和が世界の平和に通じると言う訳です。

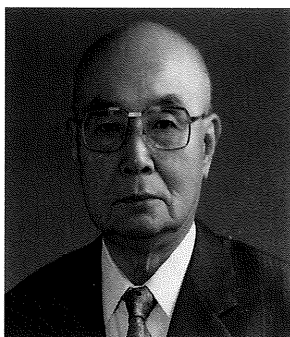
2月第2週を「家庭と地域社会」の週と定められ、特に2月18日を「家族の日」と指定され、家族の大切さと社会との結び付きを更に意義付ける催しをクラブで実行するよう求められています。また、世界中の小学生を対象にした「住みよい世界を作るために」絵画コンテストへの参加を奨励されています。

年初の所信表明の中で、見果てぬ夢を追い続けたドンキホーテを例にとって、我々も夢の実現を目指し、いかに望み薄かろうと、いかに遙かなものであろうと崇高な夢を夢見る人にならなければならないと訴えられました。

我々ロータリアンは心をつにして会長テーマに従い、夢が現実になることを信じ、この世の中をよりよい世界にする意志をもって、行動しようではありませんか。

平和が実現し、慈愛が君臨し、真心が生活の礎石となるに違いない世の中を夢み、残された半期をロータリー創立100年に向かっての最後の10年の出発点として努力しようではありませんか。

# 「世界理解月間」に当って



地区国際奉仕委員会  
委員長 吉村 外一郎

世界の人々は、各国の人々とお互に理解と交流を深めたいと思いつつも、国、人権、言語、宗教、習慣等の違いにより、意の如くならないのが現状であります。

そこでロータリーとしては毎年2月を「世界理解月間」とし同期間中各クラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と親善を特に強調するクラブプログラムと活動を実施し、国際奉仕に焦点を合わせて世界社会奉仕（W.C.S.）を中心として青少年交換、ロータリー財団等のプログラムを活用して国際理解と有効親善の増進に役立つ活動を行うように奨励されております。

当地区の青少年交換委員会では、理解と交流を深める先兵として各委員の方々が交換学生の選衡と決定に努力を重ねられ、優秀な学生を海外へ派遣し、それらの学生は1年間相手国の家庭にホームステイして研鑽を重ね、友好を深める貴重な経験をして帰国しております。又相手国からも学生を受入れて、地区の家庭でホームステイして理解と親善を深めております。

当地区の世界社会奉仕委員会はその活動が世

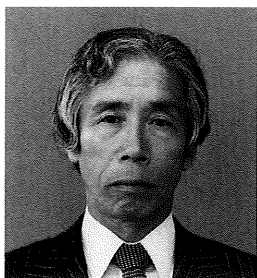
界有数の活発な地区として認められております。そして現在ではドネーション総金額及び対象プロジェクト数は、国内地区では2番目であり、全世界地区でも前述の通り屈指のW.C.S.活動地区となっております。更に毎年タイ、フィリピンの両国へ友好、親善の訪問旅行を行って援助資金の交付をし、友好と親善を深めるとともにお互に更なる理解を深め合うよう努力をしております。本年度も'96年2月に両国を訪問する予定でありますので、更に積極的なご支援をお願いする次第であります。

また2月23日は最初のロータリークラブの会合が開かれた創立記念日であり、「世界理解と平和の日」に指定されております。ロータリアンはこの「世界理解月間」に思いを新たにしていきたいと思います。それは他国の人々、その文化、習慣、業績、抱負、問題等を知ることであり、また旅行や国際大会出席による個人交流であり、読書や文通であり、更には他国の人々に役立つクラブの活動や、プロジェクトすべてに協力することです。

国際友好委員会の調査によりますと、世界的なシステムとしてロータリー友情交換制度があり、これはロータリアンとその家族が相互訪問をし合い、相手国のロータリアンの家庭に数日間滞在して友好を深め合うということでもあります。

'96年6月にはカナダのカルガリーに於て国際ロータリー年次大会が開催されますが、世界の人々と友情と理解と交流を深める絶好の機会でもありますので、多数のロータリアンのご参加を期待しております。

## 「世界理解月間」に因んで



地区青少年交換委員会

委員長 林 光雄

毎年ロータリーの国際青少年交換プログラムを活用している留学生は全世界で約7,000名の数にのぼります。日本国内の34地区では約250名、当2760地区では約14名の派遣・受入が行われています。このプログラムは国際奉仕活動の

内で最も価値ある奉仕活動の一つであります。外国のロータリアンの家庭にホストされ、その家族の一員として過ごし、現地の学校に通学しありのままの生活体験をし、その国の文化・風俗・習慣を見聞しながら、国際理解と国際親善を推進するもので、交換留学生は善意と国際理解の若き親善大使であります。切れ目なく続くこの奉仕活動は多くの困難と煩しさを伴う事もありますが、クラブにとっても地域社会にとっても計り知れない大きな成果をあげる事が出来ます。世界理解月間に相応しいこのプログラムに一つでも多くのクラブが参画され世界平和と国際親善の輪がより一層大きくなる事を望みます。

## 我が地区のW.C.S.活動



地区社会奉仕委員会

委員長 牧 真

当第2760地区のW.C.S.活動は、正式な地区活動として、始められ10年～。

その以前クラブ対クラブの活動を含めると17年と聞き及んでいますが、今やR.I.及び他地区のお手本として高く評価されるまでになってまいりました。

これは、地区内各クラブの積極的なご支援とご協力のたまものと、感謝致しております。

本年度も世界理解月間の平成8年2月に間に

合わせ、2チームでフィリピンの（3800・3810）地区と、タイ・チェンマイの（3360）地区にW.C.S.視察団を送ります。

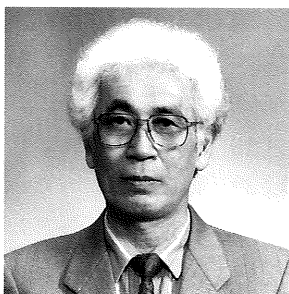
これは、昨年までに当地区が協力してまいりました、現地ロータリークラブの各プロジェクトの検証と追跡、そして、これから始められる新しいプロジェクトの見学、そして、その社会的背景、実情を見てまいります。

一人でも多くのロータリアンの参加を頂き、視察旅行で現地ロータリークラブのプロジェクト活動が、この様に活動されている現実を自分の目で見て、自分達も参加しているんだと実感をお味わっていただきたい。

こうしたW.C.S.の奉仕活動の中で、親睦・友好が生まれ、友好親善の中からさらに次の奉仕のエネルギーが生まれてくるのだと思います。

ぜひご参加をおすすめ致します。

# 世界理解＝異文化理解



地区国際友好(小)委員会  
委員長 中野博三

『世界理解』を考える際に、いちばん問題になるのは、人種的・民族的偏見と結びついた文化の問題である。世界の国々は、すべて異質の文化的固体であり、この領域について、もっと現実的な認識をもつ必要がある。

私は『世界理解』イコール『異文化理解』だと考えている。異文化の問題は、文化的背景を異にする、諸個人の現実の接触の中でおこり、

接触が深まれば、相手への知識が増えると共に、相互の違和感が累積していく機会も増える。それに、すぐ使える手引書やマニュアルの様なものはない。だから、絶えず新しい経験に立ち向いながら、絶えず新たに物ごとのありようを考え直していくしかない。

個人が異文化に接触する場合、『百聞は一見にしかず』も貴重な体験ではあるが、たまたま自分と出会った事柄を、すべて普遍的に解釈してしまうと云った、『一事が万事』となる傾向が強い。特に、マスメディア社会に於ける『情報化』は、これを増進させ、異文化に対する理解を深めるよりも、『一事が万事』的に異文化を理解させて、逆に、『異文化誤解』を生じさせている感がある。この『情報化』に対処するには、日常的な態度として『異文化理解』には、『一事が万事』となる傾向が強いことをよく承知して、『一事が万事』的な誤解を乗り越える様に心掛けなければならない。

## ロータリー文庫通信 (第99号)

### 最近5年間の地区大会記念講演から

その1 (1990-'91)

- ◎「誤解される日本人」  
グレゴリー・クラーク D.251 22頁
- ◎「動物からのメッセージ」  
中川志郎 D.255 10頁
- ◎「日本のこころ」  
高田好胤 D.256 9頁
- ◎「世界の変革とこれからの日本」  
瀬島龍三 D.259 9頁
- ◎「信長にみる時代を切り拓くリーダーの条件」  
津本 陽 D.263 19頁

- ◎「21世紀にむけての日本の役割」  
エズラ・F・ボーゲル D.268 13頁
- ◎「初めての民間女性大臣・経済企画庁長官を経験して」  
高原須美子 D.270 24頁
- ◎「議会開設百年と日本政治の現在」  
坂本孝治郎 D.273 17頁
- ◎「文化と交流」  
陳 舜臣 D.274 10頁

### ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館 7 階  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

# 1995～'96年度 国際ロータリーゾーン研究会開催

恒例の国際ロータリー第1、2、3、4(a)ゾーン研究会は12月1日から3日まで東京プリンスホテルにおいて服部禮次郎、今井鎮雄両R.I.理事の指導のもとで開催された。

研究会には全国からガバナー、ノミニー、パストガバナー夫妻約700名が集まり、台湾からも15名出席した。

3日間に亘る会議の第1日目はマドリッドから行事を終え来日されたブラウンR.I.会長ご夫妻とローマから来られたジアイ会長エレクトご夫妻を迎え、盛大に歓迎晩餐会が催された。

本会議は日程に従い、終始熱心議論が交わされ、夫人向けにはR.I.会長夫人、会長エレクト夫人、理事夫人を囲む懇談会や江戸東京博物館見学等盛り沢山のプログラムが用意され、それぞれ意義深い研究会だった。

なお、来年度は神戸ポートピアホテルで開催されます。名称は「1996年ロータリー研究会」に変更となります。

## 本会議日程

12月2日(土)

- 9:00～10:30 開会式
- 10:50～12:00 第1セッション —R.I.現況報告—
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～13:30 1996年アジア地域大会
- 13:30～15:00 第2セッション —家庭の重要性—
- 15:20～15:40 フロアとの交流(1)
- 15:40～17:10 第3セッション —会員増強・拡大—
- 17:10～17:25 フロアとの交流(2)

12月3日(日)

- 9:00～11:00 第4セッション  
—ポリオ撲滅運動への援助—
- 11:00～12:00 第5セッション  
—地域社会におけるクラブの役割—
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:00 第6セッション —ロータリー財団—
- 14:00～14:20 フロアとの交流(3)
- 14:20～15:00 閉会式



ゾーン研究会会場



## ゾーン研究会開催に当って 基調講演〈抜粋〉

国際ロータリー会長 ハーバート G.ブラウン

敬愛するロータリアンならびにゲストの皆様、  
本日、この研究会の席上、皆様にお話しさせて頂く機会に浴しましたことを、この上ない光栄に思うものであります。貴国、日本におけるロータリーは、貴国の輝かしき成長、発展と相まって、奉仕と献身の素晴らしい歴史を綴っております。私の切なる願望であります会員増強の分野におきましても、日本のロータリアンの皆様は、他のロータリー国が範とするべき新しい標準を設定されました。ロータリーを分かち合おうとされる皆様の熱意は、来る新世代におけるロータリーの活動力を保証するものとなるのであります。

日本のロータリアンの皆様は、また、ロータリー財団の支持におきましても、その先頭になっておられます。最近のことですが、私は財団への年次寄付における世界の上位30地区のうち、25地区は日本の地区であることを知りました。深く感謝と敬意を表するものであります。皆様の寛大なるご支援によって、財団は、広く全世界にわたる、その人道的活動をますます発展させ

ていくことができるのであります。

さて、本日は、ここにルイス・ジアイ次期R.I.会長にもご出席頂いております。特にこれは地区ガバナー・ノミニーの皆様に応えたいのでありますが、皆様は、ルイス次期会長をリーダーに迎えることができ、ほんとに幸せな人たちであります。何卒、ルイス次期会長を全面的にご支援下さることを願って止みません。ルイス次期会長は、来たるべき将来の世界ならびにロータリーを担うことになる若い人たちと共に活動し、彼らを支持することを全ロータリアンに要請される計画であると伺いました。氏は、ロータリーを来たる将来に備えた組織とすることに献身しておられるのであります。

ジアイ次期R.I.会長とガバナー・ノミニーの皆様のご活躍によって、来たる年度がロータリー史上、最も偉大な業績に溢れた年度となることをご期待申し上げる次第であります。

今日、私たちは、ロータリーおよびロータリー財団が達成した業績に驚嘆することができます。それらの驚異なる業績は、皆様から始まり、一歩、一歩、一年、一年、ロータリアン一人一人が、この世に相違を生み出すために力を合わせて活動することから始まるのであります。

私は、今年、その業績を更に増やすために皆様の能力を分かち合って下さるように懇請申し上げます。私たちの目標は非常に野心的ですが、それは私たちのテーマとしてインスピレーションから生まれたものであります。



歓迎晩餐会で挨拶するブラウン会長

真心の行動

## 慈愛の奉仕

### そして 平和に艇身

今、この時点において、ロータリアンの皆様は、どのようにこのテーマを実践しておられるのでしょうか？ 私の切なる願いである3つの重要な目標—まず、第一は会員の増強をはかること。第二は、ポリオの根絶をはかること。そして、第三は、家庭と地域社会のために献身することです。

私は、本日、ここにおいて、この重要な3つの目標達成を目指して皆様のご協力をお願いし、既に、皆様ならびに世界中のロータリアンのご尽力により成し遂げられたことをご紹介申し上げたく存じます。

今、私たちは、カルガリーへの挑戦を目指して活動いたしております。クラブおよび地区は、今年、85,000人の新会員の純増を目指し、949の新クラブを結成することを誓約して下さいました。ここに、お集まりの皆様も、全員、少なくとも、1名の新会員をスポンサーして、この目標達成に寄与して下さいことを信じているものであります。この目標数のロータリアンが入会されたならば、どれほど広い世界に、真心、慈愛、奉仕、平和を推進させることができるかを想像して見て下さい。

皆様の絶大なるご協力のお陰で、何百万という子供たちもポリオ・プラスにより慈愛の意味を知っています。長年、ユニセフの事務局長をつとめられた故ジェームス・グラント氏が、ロータリーは「政府の力と親の優しさを具えた」組織であると評されたことがあります。親が子供を守る精神が、ロータリアンの心と想像力をとらえて、ポリオ・プラスを慈愛の冒険としたの

であります。

来春の2月には、世界中のロータリー・クラブが「家庭および地域社会週間」を尊奉して家庭の重要性を強調することになっております。この特別週間は、2月18日の「家族の日」をもって最高潮に達することを願っております。多くの国には、母親や父親をたたえる日があります。家族をたたえる日があっても良いのではないのでしょうか？ そして「家族の日」が例年の伝統行事になることを願っています。

私たちは、誰でも、この世界の何処かに、真に平和な一角を作り出すことができます。そのためには、真摯に誠心誠意をもって、それぞれのつとめを果さねばなりません。

本日、ここで、私は、皆様にそれぞれの役割を果たして下さいをお願いするものであります。まず、新ロータリアンをそれぞれのクラブに入会させて、その役割を果たして下さい。ポリオを根絶させるプロジェクトに実際に関与して、その役割を果たして下さい。各自の地域社会において、健全な家庭を築き、若者と共に活動して、その役割を果たして下さい。若い人たちに奉仕精神を注入し、リーダーとしての素質を磨くために、ローターアクトやインターアクト・クラブを結成し、RYLAを実施して、その役割を果たして下さい。

これらの目標達成を目指してご献身願えるならば

平和が実現し、  
慈愛が君臨し、  
真心が私たちの生活の礎石となる、

ことを信じて止みません。

ありがとうございました。





## 家庭および社会への ロータリーの献身

「ロータリーの鼓動」とも言える社会奉仕は、長い間、ロータリアンとロータリー・クラブにとっての中心的関心事項であり続けてきました。一層複雑化しつつある新たな問題が私達の社会を苛んでいる今日、私達は、私達の努力を検討し直さなければなりません。

地元の公園の清掃などといった、社会の「無難な」ニーズを超えて、家庭内暴力、ギャング、子供の虐待および放任、その他の無視されがちな複雑な問題に対処する、ロータリーの活動が必要とされています。私達が、社会奉仕プログラムを現実的に評価するなら、私達の社会は、これまで行なってきた社会奉仕プログラム以上のものを必要としており、私達にはそれ以上のものを実行する能力があることに気がきます。

まず、社会の基本的構成要素である「家庭」から対処し始めようではありませんか。今日の家族は、いくつもの複雑な問題に包囲されています。世界の多くの場所で、厳しい経済的困難が、家庭を破壊し、罪の無い子供達を路上の危険な生活に追いやっています。子供のことを案じ教育にいそむ親達でさえ、麻薬、ギャング、暴力などが子供達の生活に与える影響を阻止することの困難さに直面しています。

家庭を強化するためにロータリー・クラブにできることはたくさんあります。まず、地域社会に、人間としての普遍的な価値観の重要性を植え付け直す活動から始めることです。その最も基本的な価値観のひとつは、他の人達への思いやりです。これは、模範を示すことによつてのみ教えることのできる価値観です。しばしば、大人としての生活では、家族のニーズを犠牲にして、個人としてのニーズを満たすことに集中してしまうことがあります。誰かが私達に関心を示してくれた時のみに、私達はその人に関心を持つという態度が身に付いてしまいました。今日の見捨てられた青少年や、その不幸な家族にとって、ロータリアンは、「関心を示してくれる誰か」となることができるのです。お互いに愛し合い、尊敬し合うように、また、目標を設定してその達成に向けて努力するようにと子供達を教育すれば、人生の重要な要素となるこれらの価値観を、後の世代にも伝えて行くことができるのです。

そこで、明白な事実として浮び上がってくるのは次の点です：

- ・ 社会の基本的な構成要素である家庭は、その構造が崩壊されつつあり、複雑な社会的かつ経済的問題と化しつつあります。
- ・ 家族構成の崩壊は、一方では、社会の機構を脅かしています。
- ・ ロータリーの長年にわたる社会奉仕への献身を考えれば、ロータリアンにとって、今日の家庭の危機に積極的に対処して行くことは必至の課題となります。

よつて、世界中のロータリアン、ロータリー・クラブ、地区は、次のことを実行するように奨励されています：

- ・ 家庭内暴力、子供の虐待／放任、ホームレス、薬物とアルコールの濫用、ギャング活動、託児所の必要、失業などといった、今日、家族が直面している最も手ごわい問題を解消するために力を合わせる
- ・ 家庭、学校、世界中の地域社会に、人間としての普遍的な価値観の重要性を実感させる
- ・ 家庭を強化し、社会にとって安定した錨の役割を担う新プロジェクトの着手、または、現行のプロジェクトの継続

## ロータリーの将来ならびに将来のロータリーを築こう 〈抜粋〉

親愛なるロータリアンならびにゲストの皆様：

本日、この国際ロータリーの研究会に参加させて頂く機会に浴しましたことを大きな光栄に思うものであります。

この研究会は、今年、ハーバート・ブラウン会長が私共全員に参加敢行を要請しておられる、「真心の行動、慈愛の奉仕、平和に挺身」に対する私共の努力、献身を、今一度、再検討し更新させるこの上ない機会となります。

私個人といたしまして、まず、皆様のこれまでの素晴らしい業績、今日、皆様が実践しておられる活動、また、皆様が達成しようとされている事柄に対して、深く敬意を表するものであります。ロータリーにおいて、質の高い組織を築こうとするものにとって、日本は、その鏡であります。

皆様の奉仕活動、皆様のご貢献は、この組織にとって、他に類のない素晴らしいものであります。



ジアイ会長エレクト夫妻と松本ガバナーノミニー

国際ロータリー会長エレクト ルイス・ピセンテ・ジアイ

1996-'97年度の国際ロータリー会長といたしまして、私は、その年度の目標達成におきましても皆様が主要な役割を果たして下さるものと願っています。

私たちの組織にとって非常に重要な時期にある今日、この研究会は、ロータリアンとしての私たちの考え方や信条を吟味し直す絶好の機会をなすものであります。

ポール・ハリスという一人の人間のアイデアが、如何に形成され、開発され、世界中に広まっていったかに思いを巡らし、いつも、感動されています。

ポール・ハリスが理想としたことは、今日、国際ロータリーとして知られる、世界中で最も古く最大の奉仕団体となって具体化されたのであります。

ロータリーの奉仕の精神は、世界の隅々から、ロータリアンの心を動かし、胸を躍らせる響きをもって伝わってきます。この組織は、善意の人たちの全世界を取り巻くネットワークとなり、個人の尊厳および言論の自由が認められている世界諸国に広がっていきました。

90年に及ぶその歴史におけるロータリーの影響には、誠に目覚ましく、深遠なるものがあります。

そこで、皆様に、次のような質問をいたしたいのであります。

民間団体にて、今日、ロータリーほどの規模を

もって、世論に訴え、人々にアイデアを表明する機会を与え、地域社会を向上させる計画を立て、国内および世界社会で人道的奉仕を实践できる団体がほかにあるでしょうか？

その答は簡単ですー「ロータリー以外にはありません。」

今や、ロータリーは、「奉仕を实践するアイデア」と同義語になっています。

ロータリーは、ロータリーの将来ならびに将来のロータリーを築き上げる時を迎えている、というのが私の信条であります。

私たちの将来は既に決まっているものでもなければ、天の星の気まぐれによるものでもありません。

人類の将来も、ロータリーの将来と同様、私たちの両親、あるいはその両親によって定められているわけではありません。

過去は、旧世代の産物であり、  
現在は、我々の両親が築いたものであります。  
私たちの世代のつとめは明日の世代の世界を築くことであり、  
ロータリーの将来は、私たちの活動如何によるのです。

私たちの組織を全世界に拡大、発展させた決定的要素は何なのでしょう？

ロータリーを全世界に拡大させた決定的要素は、皆さん、適当なレストランが十分に存在するかどうかではありませんでした。

ロータリーを発展させた基本的な決定的要素は、世界各地において、思いやりの精神に目覚めた

多くの理想家たちの奉仕しようとする意欲でした。

ロータリーの発展に寄与した決定的要素は、ロータリアン自身なのです。

ここで、簡潔ながら、私自身のロータリーの将来についてのビジョンを紹介させていただきます。お気に召さない時には、常に、現在へ逆戻りすることができます。けれど、この夢が至当だと思われる場合には、その実現を目指して実行に乗り出して下さい。

ロータリーを世界中における奉仕プロジェクトをもって知られる組織団体とすること、特にこれからの世代の人たちのために献身している組織として特徴づけられるように努めましょう。

ロータリーを世界中の若い人たちのために奉仕する組織に育てましょう。

私が「若い人たち」のためと言いますのは、来たる新世紀に私たちの地域社会におけるリーダーとなる、今日の、児童、青少年、若い成人にとって重要な関心事項に私たちの支援とエネルギーを傾注することを提案しているのであります。

ロータリーが、今日の社会において恵まれない、差別待遇を受けている多くの若者たちのために奉仕する組織になるように努めましょう。

最後には、ロータリーが、今日の若者の中から台頭するリーダーを見出し、指導し、出世の機会を提供できるように、その立場を確立させて下さい。彼らこそ、次の世代を担うリーダーであり、次の世代のロータリアンともなる人たちだからです。

今日、奉仕、協力、友愛の種を蒔くことは、我々が既にこの世を去った、西暦2050年代、あるいは

は2060年代と言えは遠い将来のこのように聞こえますが、今日、私たちが、この夢の実現を目指して行動に乗り出すならば、私たちの国際ロータリーは、ますます発展し、活動を続けていることに相違ありません。

これが、極く簡潔ながら、私が皆様にお伝えしたかった将来に対する私のビジョンであります。

最後に、二つの点を強調させて頂いて私の話を終わらせて頂きます。

まず、その一つは、皆様には、将来に対する私のビジョンにご同意頂けないかも知れません。その場合、常に視点を現在に戻し、現状維持に留めることができます。いつでも歩調を変え目標を変えることは可能です。けれど、歩調を変

え、目標を変えることを余儀なくされ、もしも、私たちが間違っていたならば、二度とない機会を逃すことになるのであります。

二番目で最後の点は、私たち全員が望むのならば、私たちの活動を現在の世界のこののみに限ることもできます。中には、将来の計画は明日にでもできるではないかと思っておられる方があるかも知れません。ただ、過去に逆戻りすることだけはできません。過去は、過ぎ去ったことなのです。

よって、私たちに残された道は、私たち全員が、力を合わせて、ロータリーの将来、将来のロータリーを築くことのみなのであります。

ありがとうございました。

## 1995～'96年度 ロータリー財団 第1・第2・第3・第4(a)ゾーンセミナー

本年度のロータリー財団セミナーは11月30日東京プリンスホテルで開催された。

当地区からは石川ガバナー、松本ガバナーノミニ、矢島地区R財団委員長が出席した。

冒頭、ローマからヨーロッパのゾーン研究会を終え来日されたルイス・ピセンテ・ジアイ国際ロータリー会長エレクト（アルゼンチン）はロータリー財団に対する日本ロータリアンの支援を世界最高の貢献と深く感謝され、更に一層の協力を要請された。

また、来年がポールハリス没後50年に当たるのでこれを機に財団の再構築を計り、世界のニーズに合うよう努力したい旨、強調された。

平岡財団地域コーディネーターからは従来の年次プログラム寄付金と併せ①マルティプルPHF②ベネファクターへの協力を懇請され、冠名奨学金に就いて説明された。

パネルディスカッションでは中島前財団管理委員からインドのポリオワクチン投与の為、ロータリアン、ヘルパー用エプロン50万枚分の費用負担を日本から支援したいので各地区へ協力要請があった外、第2650地区のベネファクター協会の概要、第2680地区から神戸大震災に寄せられた災害金の使用経過と今後の対応について説明がされた。



財団セミナー会場

## 1995～'96年度 第2回オリエンテーションをかねた交流会

地区青少年交換(小)委員長 林 光 雄

'95年11月18・19日の2日間、風光明媚な三河湾の三河ハイツに於て交流会を開催。受入留学生11名、派遣候補学生14名の全員が参加。目的地への車中では英語・日本語の歌が飛び交い大変なごやかな雰囲気であった。夕食後、受入学生グループは本木・山本委員の指導にて「来日以後の問題点・ルール・要望」等、派遣候補学生グループは大谷・神田委員に依り「出発までの準備期間・外国生活の心構え」等に就いてのオリエンテーションを遂行。オーストラリアからの2名は来日して1ヶ月経ち日本をかなり理解している。アメリカ・カナダからの9名は8月に来日。まだ3ヶ月ではあるが日本にとけ込みつつあり、ユックリ話せば日本語も理解出来始めており、さすが若さである。日本人学生は派遣先が未定の為、期待と不安が入り混じった様子が伺える。夜の自由時間では会話がはずみ1～2時間しか寝ていない学生が多くいた様子。翌朝のオリエンテーションでは、石川和昌ガバナーよりのメッセージ(別添)を学生に伝達。昼食後、蒲郡の竹島を散策。帰路、一部東岡崎駅で、愛知県芸術センターで解散。秋晴に恵まれた2日間であった。

### 〈日程〉

#### 11月18日(土)

16:00 桜花学園本部 出発  
17:30 三河ハイツ オリエンテーションⅠ  
(委員長あいさつ、予定説明)

18:00 夕食  
19:00 オリエンテーションⅡ並びに交流会  
20:30 宿泊棟へ移動・自由行動  
22:00 就寝

#### 11月19日(日)

6:30 起床・身支度  
7:45 朝食  
8:30 オリエンテーションⅢ

10:00 三河ハイツを出発  
10:30 蒲郡ファンタジー館見学・昼食  
12:15 竹島散策  
14:00 岡崎方面留学生・名鉄東岡崎駅で解散  
15:15 愛知県芸術センター横で解散

### メッセージ

国際ロータリー第2760地区青少年交換で日本にいらした留学生の皆さん、そして日本から派遣候補となっている留学生の皆さん、こんにちは。

第2回オリエンテーションをかねた交流会にお集まりいただきご苦労さまです。

本来なら私が出席し親しく皆さんにごあいさつすべきところですが生憎所用がありメッセージで失礼いたします。

今、皆さんがお集まりの三河ハイツは愛知県の海、三河湾が一望に見渡せるところです。

どうか、このような景勝の地で青少年交換委員会の林委員長のもとしっかり勉強し、又、楽しいひとときをつくり国際交流の実を上げて下さい。

R.I.第2760地区

ガバナー 石川 和昌



記念撮影

# 1996～'97年度 地区青少年活動委員長会議

日時／平成7年10月15日(日) 会場／名鉄岡崎ホテル

地区青少年活動委員長 宮 本 昌 幸

去る10月15日午前11時より、地区青少年活動委員長会議が開催されました。石川ガバナーを始め、盛田パストガバナー(カウンセラー)以下特別出席者および地区内73クラブの青少年活動委員長(I.A.、R.A.、RYLAの各委員長を含む)総勢130名のご参加を得まして、会議が開始され午後3時終了致しました。

## 【当日の会議内容】

### 1. 新結成クラブの経過報告

提唱RC代表

・県立千種高校I.A.C.……岡本 纓二

(名古屋名東)

・名古屋短大付属高校I.A.C.……津田 和長

(名古屋東)

・名古屋名城I.A.C.……山口 兼市

(名古屋北)

### 2. I.A.C.の活動状況について

・松田美紀(安城学園高校I.A.C.)

・後藤友美(光ヶ丘女子高校I.A.C.)

・夏目 幸(豊田高専I.A.C.)

### 3. R.A.C.の活動状況について

・吉田高延(R.A.C.地区代表・江南R.A.C.)

・鳥山紀幸(岡崎R.A.C.)

### 4. ライラセミナーの開催について

・岡部快圓(地区ライラ(小)委員会委員長)

## ガバナーの挨拶

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 石川 和 昌

ロータリーの青少年活動のうち、提唱R.C.が支援するI.A.C.、R.A.C.の地域社会への奉仕は本当に優れたものばかりで、教えられるところが多くございます。

こうした活動の影響が刺激となり、当地区も

新しく県立千種高校I.A.C.と名古屋短大付属高校I.A.C.と名古屋名城R.A.C.の計3つのクラブが誕生しました。とくに今年は、長年交流関係にありましたハワイから、青少年研修生の受け入れもし、県内各地で歓迎行事も行われ、親善友好の輪を広げることができましたことを喜んでおります。

中でもR.A.C.につきましては、会員増強・年令制限・財政の面で、各クラブ共通の悩みとするところでありますが、真剣に取り組んでいるアクターも立派な社会人であり、それぞれに自主性とか自立を求め知ること大切であると同時に、ロータリアンとしては、努めてマネーメイキングも考え、良き指導と支援により責務を遂行して頂くよう期待致します。

生む苦しみより、育ての苦しみと申しますが、青少年の健全育成に対する先行投資は、いくらしてもむだにならないことを承知し、一層のご努力をお願い致します。



## カウンセラーの挨拶

国際ロータリー第2760地区

パストガバナー 盛田 和 昭

ロータリーの会長は1年で交替することになっていることは、ご承知のところではありますが、1905年の今から90年前に、ロータリーが作られ

た動機を今一度、思い返して下さい。

第1に親しい友人と楽しむ会とすること、

第2には、競争のない心なごやかな仲間との出会いを広めることにあるのでありまして、これがロータリーの主題であり、そこから親睦が生まれ、奉仕の喜びを感じるのであります。

即ち、すべては親睦から奉仕が自然に生まれてくるのであることを、自覚することが大切であると存じます。

青少年活動においても、そうした環境作りを優先し、真に地域社会が要求するものに因てて行かなければならないと思います。そして我々個人が担う責務を充分認識し、青少年の精神的資質の涵養に努めることが、ロータリアンにとって大きな使命であるを承知し、努力して頂きたいと思います。

#### 会議の主旨・挨拶

##### 地区青少年活動委員会

##### 委員長 宮本 昌幸

ロータリー青少年活動の中心的原動力の役割をもつ、I.A.C.とR.A.C.の拡大に関し、ご尽力頂いておりますことを感謝致します。

お陰をもちまして、前年度末に2つのI.A.C.と1つのR.A.C.が誕生しました。地区内におけるI.A.C.が13クラブ、R.A.C.が10クラブとなり、更に一層の活発化が期待される所となりました。

I.A.C.の場合は、学校と担当して頂く顧問教師のお引き受けにより、設立の準備から結成後の運営に至るお世話をして頂けることが多いのでありますが、R.A.C.の場合になりますと、一般社会人の集まりでありますので、会員集めから運営の指導協力が欠かせないものとなり、大変苦勞が伴うことになります。本日は、このたび新結成されましたI.A.C.とR.A.C.の提唱RC代表の皆さんから、設立の準備から結成に至るまでの状況経緯について、詳しくご報告をして頂くことになりました。

その他、I.A.C.やR.A.C.の活動状況につ

いても提唱RC以外のRCでは、詳しくご存知頂けていないこともあろうかと思ひまして、今回はとくに両クラブ会員の代表者をお招きして、学校および地域社会に対する奉仕活動および海外研修の成果などについて、ご発表して頂くことになりました。大変限られた時間の中ですが、きっとご参考になるお話しをして頂けるものと思いますので、お聞き下さるようお願い致します。



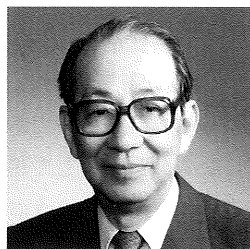
##### 【当日ご出席の担当委員長及び委員】

|                    |          |
|--------------------|----------|
| 地区青少年活動カウンセラー・バスター | 盛田 和 昭   |
| 地区 青少年活動委員長        | 宮本 昌 幸   |
| 地区インターアクト(小)カウンセラー | 松 前 憲 典  |
| 地区インターアクト(小)委員長    | 坂 本 康 信  |
| 地区ローターアクト(小)委員長    | 野 崎 洋 二  |
| 地区 ラ イ ラ (小) 委員長   | 岡 部 快 圓  |
| 地区青少年活動副委員長        | 小保川 二 郎  |
| 地区 青 少 年 活 動 委 員   | 加 藤 喜 作  |
| 地区 青 少 年 活 動 委 員   | 高 沢 博 久  |
| 地区インターアクト(小)副委員長   | 萩 本 鉄 夫  |
| 地区インターアクト(小)委員     | 佐藤 昭 太 郎 |
| 地区インターアクト(小)委員     | 多 田 博 剛  |
| 地区インターアクト(小)委員     | 河 合 良 之  |
| 地区インターアクト(小)委員     | 山 口 誠 一  |
| 地区インターアクト(小)委員     | 中 根 啓 弐  |
| 地区ローターアクト(小)委員     | 石 川 敬    |
| 地区ローターアクト(小)委員     | 青 木 公 貞  |
| 地区ローターアクト(小)委員     | 中 野 敏 雄  |
| 地区 ラ イ ラ (小) 委員    | 岡 戸 麻 一  |
| 地区 ラ イ ラ (小) 委員    | 小 林 衛 司  |
| 地区 ラ イ ラ (小) 委員    | 石 田 喜 運  |



# 公式訪問だより

## 〈会長の目標〉



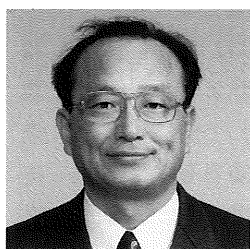
名古屋和合 R. C.  
1995年11月22日(水)  
ホテルナゴヤキャッスル  
会 長 柴崎 守正  
幹 事 天野 俣明  
会員数 112名

R.I.会長テーマを指針としてクラブ運営に努める。  
ロータリーの意義の理解と内外への浸透。  
クラブ内の融和及び和合精神の徹底。  
会員増強目標5名以上。  
R.I.会長賞に挑戦する。  
子クラブ拡大への準備。  
多様な趣味の会を通じての親睦。



西尾KIRARA R. C.  
1995年11月24日(金)  
西尾信用金庫中央支店  
会 長 二宮 誠二  
幹 事 鈴木 正司  
会員数 62名

- ・「行動と想像」をテーマに創立5周年事業実施。
- ・一般市民参加の「市民大茶会」開催。
- ・中学生海外文化体験の旅派遣。
- ・創立5周年記念例会、「西尾KIRARA賞」顕彰及びキャラバン隊実施。
- ・会員増強目標6名以上。
- ・R.I.会長賞に挑戦する。



田原パシフィック R. C.  
1995年12月5日(火) 夜間  
峯山会館  
会 長 松井 準治  
幹 事 河辺虎太郎  
会員数 66名

1. 平野分区代理をサポートし、IMを成功させる。
2. 日々の委員会の活発化が、クラブの活発化をうながし、IM成功への道へとつながる。
3. R.I.会長賞に挑戦する。
4. 増加会員11名目標。
5. 若さ溢れた会員構成でIMに向け力を結集。



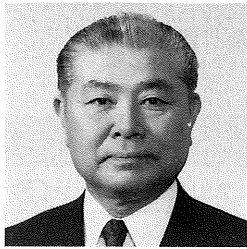
安城 R. C.  
1995年12月8日(金)  
碧海信用金庫本店  
会 長 田渕 芝男  
幹 事 加藤 弘  
会員数 95名

- ・穏やかにして楽しく。
- ・1996年7月21日開催のインターアクト地区協議会の準備。
- ・4年間にわたる拡大研究に対する結論。
- ・R.I.会長賞に挑戦する。
- ・増加会員4名目標。
- ・環境保全をメインに油ヶ淵クリーン事業への支援、530運動推進。



豊橋北 R. C.  
1995年12月12日(火)  
豊橋グランドホテル  
会 長 小林 康男  
幹 事 鈴木 茂久  
会員数 114名

1. 会員増強(女性会員も含む)。
2. 明るく、楽しい例会創り。
3. R財団、米山奨学金の目標達成。
4. 主要な大会への多数の参加。
5. R.I.会長賞に挑戦する。
6. 増加会員3名目標。女性会員2名入会。
7. ゴミゼロ発祥クラブとして更なる発展。



豊橋 R. C.  
1995年12月14日(木)  
豊橋グランドホテル  
会 長 佐野 清  
幹 事 鈴木 邦夫  
会員数 130名

1. 会員増強 3 名以上。
2. オーロラクラブとの活動推進。
3. 明るい例会、明るい奉仕。友愛と思いやり実践。
4. 第 6 回 R A C 部門別協議会支援。
5. 豊商 I . A . C . 3 0 周年記念式典に協力。
6. R.I.会長賞に挑戦する。
7. 石川ガバナー支援協力。



新城 R. C.  
1995年12月15日(金)  
東海銀行 支店  
会 長 舩 剛正  
幹 事 古瀬 弘文  
会員数 63名

1. 地域のニーズにあった奉仕活動。
2. 新城市中学生の韓国訪問の実施。
3. ライブオークの管理。米サンアントニオ R C との交流。
4. 大邱嶺南 R C との姉妹協約 1 0 周年記念例会への参加。
5. R.I.会長賞に挑戦する。
6. 増加会員 6 名以上目標。
7. W C S 活動への理解と参加。



瀬戸北 R. C.  
1995年12月19日(火)  
瀬戸商工会議所  
会 長 堀 真典  
幹 事 山本 治  
会員数 68名

- (会員増強) 年間に 5 名程度の会員の増強を目標とします。
- (環境問題) 環境保全として瀬戸市水野川へ河川浄化を啓蒙する意味で鯉の放流等を行い環境にやさしい都市に少しでも寄与出来ればと考えています。
- ・ R.I.会長賞に挑戦する。
  - ・ 万博誘致に協力。

## ロータリー文庫通信 (第100号)

### 最近 5 年間の地区大会記念講演から

その 2 (1991-'92)

- ◎ 「ころにおしゃれを」  
石井ふく子 D.2530 12頁
- ◎ 「地方文化と中央文化」  
三浦朱門 D.2540 13頁
- ◎ 「日本人の体質と近未来への展望」  
渡部昇一 D.2550 10頁
- ◎ 「現代物理の考え方」  
有馬朗人 D.2780 17頁
- ◎ 「ロータリアンは長生きする一肉体と心」  
井手源四郎 D.2790 9頁
- ◎ 「落語的学問のすすめ」

桂 文珍 D.2640 11頁

- ◎ 「激動する国際情勢の中の日本」  
高坂正堯 D.2660 13頁
- ◎ 「人がいて、ぬくもりがあって」  
千葉紘子 D.2690 22頁
- ◎ 「高崎山の猿の子育てと環境問題」  
小野幸利 D.2720 18頁
- ◎ 「ロータリー財団と周産期医学」  
池ノ上 克 D.2730 15頁

### ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館 7 階  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

# 特別寄付報告書（1995年11月分）

財団法人 ロータリー米山記念奨学会  
理事長 末 永 直 行

2760 地区

| クラブ名     | クラブ扱入金額   | 個人扱入金額    | 法人扱入金額  | 合 計        | 件 数  |
|----------|-----------|-----------|---------|------------|------|
| 知 立      | 0         | 120,000   | 0       | 120,000    | 4 件  |
| 蒲 郡      | 220,000   | 0         | 0       | 220,000    | 1 件  |
| 半 田      | 0         | 90,000    | 0       | 90,000     | 3 件  |
| 半 田 南    | 0         | 20,000    | 0       | 20,000     | 1 件  |
| 刈 谷      | 0         | 100,000   | 0       | 100,000    | 1 件  |
| 小 牧      | 0         | 300,000   | 0       | 300,000    | 1 件  |
| 名 古 屋    | 0         | 0         | 30,000  | 30,000     | 1 件  |
| 名古屋千種    | 0         | 730,000   | 0       | 730,000    | 25 件 |
| 名古屋北     | 339,000   | 0         | 0       | 339,000    | 1 件  |
| 名古屋名北    | 200,000   | 0         | 0       | 200,000    | 1 件  |
| 名古屋瑞穂    | 0         | 30,000    | 0       | 30,000     | 1 件  |
| 名古屋守山    | 150,000   | 0         | 0       | 150,000    | 1 件  |
| 名古屋中     | 159,000   | 0         | 0       | 159,000    | 1 件  |
| 名古屋大須    | 0         | 1,740,000 | 0       | 1,740,000  | 21 件 |
| 名古屋昭和    | 0         | 930,000   | 50,000  | 980,000    | 33 件 |
| 西春日井     | 150,000   | 0         | 0       | 150,000    | 1 件  |
| 西尾KIRARA | 0         | 120,000   | 100,000 | 220,000    | 6 件  |
| 岡 崎      | 0         | 200,000   | 0       | 200,000    | 20 件 |
| 岡 崎 東    | 21,526    | 600,000   | 0       | 621,526    | 22 件 |
| 岡崎城南     | 0         | 390,000   | 0       | 390,000    | 15 件 |
| 岡 崎 南    | 0         | 130,000   | 0       | 130,000    | 6 件  |
| 尾 張 旭    | 0         | 1,170,000 | 100,000 | 1,270,000  | 31 件 |
| 豊 橋 北    | 0         | 270,000   | 0       | 270,000    | 7 件  |
| 豊川宝飯     | 0         | 1,530,000 | 0       | 1,530,000  | 50 件 |
| 豊 田      | 300,000   | 0         | 0       | 300,000    | 1 件  |
| 豊 田 西    | 0         | 120,000   | 0       | 120,000    | 4 件  |
| 豊山城北     | 0         | 1,050,000 | 0       | 1,050,000  | 4 件  |
| 地区合計     | 1,541,526 | 9,640,000 | 280,000 | 11,461,526 |      |

## 第2760地区ニュース・その他

### オーストラリアのキンロス氏 1997～'98年度R.I.会長ノミニーに指名

1997～'98年度R.I.会長指名委員会は9月11日、エバンストンのR.I.本部において委員会を開催し、委員全員15名（日本委員松本卓臣前R.I.理事）で協議の結果、1997～'98年度R.I.会長ノミニーとしてパストディレクター（1982～'83）の

Mr. Glennie W. Kinross

（Rotary Club of  
Hamilton Queensland Australia）

を指名した。

### 1997～'98年度財団奨学生 '95年募集16名に決定

地区R財団委員会（矢島委員長）は12月4日午後4時から名鉄グランドホテルで1997～'98年度地区DDF選択プログラム審議会を開き、次のように決定した。

| 選 択 の 種 類                                                 | 人数 |
|-----------------------------------------------------------|----|
| A-1-c 国際親善奨学金1学年<br>上限\$22,000<br>(旅費を含む)                 | 8  |
| A-2-e 国際親善奨学金マルチ<br>2年(学位取得)<br>年一律\$11,000<br>(\$22,000) | 8  |

今回のDDF選択原資 \$357,147.52

上記選択の結果

1学年 \$22,000×8=\$176,000

2学年 \$22,000×8=\$176,000

合計 \$352,000

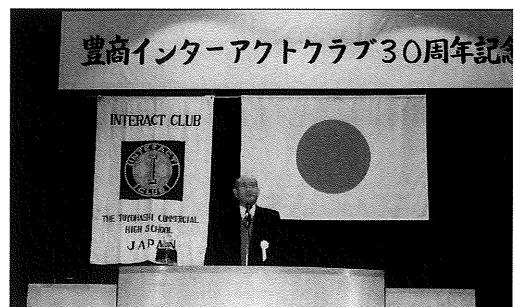
次期繰越 \$5,147.52

なお、ジャパンプログラムについては次年度の検討課題とすることとなった。

### 豊橋商業インターアクトクラブ 30周年記念式典

豊橋商業高校（渡辺亘祥校長）は平成7年11月27日、同校体育館でインターアクトクラブ30周年記念式典を開催した。全校生徒とともにボランティア活動の実践と国際理解をめざしておこなわれた。式典には佐野清・豊橋RC会長や豊橋聾学校長など来賓30名が出席。また日頃交流している豊橋養護学校の生徒も招いた。梅村豊先生をはじめ、お世話になった元顧問の先生方に感謝状が贈呈された。式典終了後、同校の卒業生でカナダ在住のリュート奏者・田中利造さんと歌手・テレサ・ドイルさん（カナダ）のコンサートが開かれ、式典に花をそえていた。

豊橋商業インターアクトクラブは昭和40年10月に発足し、地区協議会のホスト役を過去3回経験し、奉仕活動の実践によって、平成元年には豊橋市社会奉仕活動奨励基金条例により社会奉仕銀有功賞受賞、平成6年には第3回全国ボランティアフェスティバルにおいて厚生大臣賞を受賞するなど、数々の表彰を受けている。



## 第2760地区ニュース・その他

### 豊川宝飯ロータリークラブ創立10周年記念式典

豊川宝飯RC会長 大沢 茂 樹

平成7年11月24日、当クラブ会員の経営する平尾カントリークラブの定休日を開放の協力を得て、クラブハウスを会員手作りの会場において、田中泰雄豊川市長他近隣町長、関係諸団体代表、石川和昌ガバナー、宮地信尚特別代表はじめ東三河分区全クラブの会長・幹事・スポンサークラブ豊川ロータリークラブ全会員の多数のご来賓のご臨席を賜り、厳粛なうちに、楽しく有意義な式典と祝賀会を開催できましたことは、ひとえにご臨席を賜りました多数の皆さまの日頃の暖かいご理解とご鞭撻のお蔭と、会員一同心から感謝申し上げます。

思いおこせば10年前、RCの右も左も知らない新会員が、ただ若さだけを頼りに遮二無二突っ走ってまいりましたが、小野光男初代会長の名言「とにかく皆んなで仲良しクラブにしよう！」を合言葉として結集し、行動を共にしてきた結果が、今日の当クラブであると信じております。

10周年を記念するにあたって「豊川宝飯ロー

タリークラブらしい記念事業を」とただ一言の私の言葉だけで、石川和昌ガバナーの意を帶し、豊川市財賀寺の重要文化財仁王様のカムバック運動となったものであります。皆んなが仲良くなければ、こんな記念事業も、記念式典の会場作りも、祝賀会のまさに“エンジョイ・ロータリー”を地で行く盛り上がった雰囲気作りも、とうてい実現できなかったことと確信いたしております。

この活力を維持し続け、奉仕の理想の岸は遙けくとも、21世紀の全地球のために、その貢献度はたとえ小さくとも、その熱意は眞赤に燃え続けます。どうぞ旧倍のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

#### 記念事業

1. COME BACK 仁王様市民の会へ700万円寄贈。
2. ロータリー財団へ奨学金20万円寄贈。
3. 米山記念奨学会へ奨学金20万円寄贈。
4. 創立10周年記念誌の刊行。



記念式典にて石川ガバナーの挨拶



祝賀会

## 第2760地区ニュース・その他

1995～'96年度 R. I. D-2760

### I. M. 開催のご案内

- ◇東尾張分区（分区代理・福田清成）  
日 時 2月11日(日)  
会 場 名鉄犬山ホテル  
ホスト 江南R C
- ◇西尾張分区（分区代理・松前憲典）  
日 時 2月18日(日)  
会 場 一宮勤労福祉会館  
ホスト 一宮中央R C
- ◇名古屋第一分区（分区代理・荒木 巖）  
日 時 2月23日(金)  
会 場 名古屋観光ホテル  
ホスト 名古屋港R C
- ◇西三河第一分区（分区代理・加藤正男）  
日 時 2月24日(土)  
会 場 岡崎商工会議所  
ホスト 岡崎南R C
- ◇名古屋第二分区（分区代理・浦野三男）  
日 時 3月15日(金)  
会 場 東急ホテル  
ホスト 名古屋北R C
- ◇西三河第二分区（分区代理・石川八郎右衛門）  
日 時 3月23日(土)  
会 場 衣浦グランドホテル  
ホスト 碧南R C
- ◇尾張第一分区（分区代理・市田弘治）  
日 時 3月24日(日)  
会 場 I N A X本社ビル  
ホスト 常滑R C
- ◇東三河分区（分区代理・平野義郎）  
日 時 3月31日(日)  
会 場 田原文化会館  
ホスト 田原パシフィックR C

### 米山奨学生選考面接通知

米山記念奨学会委員長 小 田 公 平  
期 日 1996年2月9日（金）  
集合時間 9：30（a m）  
面接場所 名古屋国際センター 5 F  
〒450 名古屋市中村区那古野1-47-1  
T E L （052）581-5678

試験当日、筆記用具を持参してください。  
折返し同封の返信葉書で確認の回答をお願いします。  
時間は厳守してください。旅費は自弁といたします。

合格発表の通知：合格内定通知および不合格通知は2月末日までに、正式合格通知は4月5日までに本人あてに郵送いたします。

なお、可否に関する電話でのお問い合わせは、一切受付ません。

### 新ポールハリス・フェロー 11月分

| 氏 名     | 所属R.C.  |
|---------|---------|
| 阿 部 美 男 | (名古屋名北) |
| 近 藤 一 幸 | (知 立)   |
| 鈴 木 忠 夫 | (岡 崎 南) |
| 石 原 忠 正 | (名古屋大須) |
| 堀       | 齊 ( ク ) |
| 奥 井 明 春 | ( ク )   |
| 尾 上     | 昇 ( ク ) |
| 田 畑 法 賢 | ( ク )   |
| 松 木     | 中 ( ク ) |

### 計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

12月15日 戸塚 敬六（豊山一城北R C）  
12月15日 上田孝次郎（春日井R C）  
12月20日 石原 敏雄（名古屋R C）  
12月23日 遠山 孝三（津 島R C）

| 分<br>区  | クラブ名  | 出席率    | 例<br>会<br>数 | 会 員 数        |               |        | 分<br>区  | クラブ名      | 出席率    | 例<br>会<br>数 | 会 員 数        |        |        |
|---------|-------|--------|-------------|--------------|---------------|--------|---------|-----------|--------|-------------|--------------|--------|--------|
|         |       |        |             | '95年<br>7月1日 | 当<br>月        | 増<br>減 |         |           |        |             | '95年<br>7月1日 | 当<br>月 | 増<br>減 |
| 尾張第一分区  | 知 多   | 98.29  | 4           | 49           | 44            | － 5    | 西尾張分区   | あ ま       | 99.28  | 4           | 103          | 104    | 1      |
|         | 半 田   | 99.60  | 4           | 73           | 73            |        |         | 尾 西       | 98.41  | 4           | 60           | 63     | 3      |
|         | 半 田 南 | 99.23  | 4           | 68           | 68            |        |         | 一 宮       | 98.89  | 4           | 91           | 93     | 2      |
|         | 東 知 多 | 96.67  | 4           | 58           | 57            | － 1    |         | 一 宮 北     | 99.22  | 3           | 83           | 88     | 5      |
|         | 常 滑   | 97.10  | 3           | 69           | 70            | 1      |         | 稲 沢       | 98.12  | 5           | 64           | 64     |        |
|         | 東 海   | 98.79  | 5           | 64           | 66            | 2      |         | 西春日井      | 98.35  | 4           | 65           | 65     |        |
|         | 計     | 98.28  | －           | 381          | 378           | － 3    |         | 尾張中央      | 100.00 |             | 50           | 49     | － 1    |
| 名古屋第一分区 | 名 古 屋 | 98.01  | 4           | 225          | 240           | 1 5    | 東三河分区   | 津 島       | 100.00 | 3           | 86           | 92     | 6      |
|         | 名古屋南  | 98.20  | 5           | 121          | 124           | 3      |         | 一宮中央      | 97.40  | 4           | 68           | 71     | 3      |
|         | 名古屋港  | 100.00 | 3           | 128          | 132           | 4      |         | 計         | 98.85  | －           | 670          | 689    | 1 9    |
|         | 名古屋瑞穂 | 100.00 | 4           | 100          | 101           | 1      |         | 渥 美       | 93.44  | 5           | 63           | 66     | 3      |
|         | 名古屋中  | 100.00 | 4           | 157          | 165           | 8      |         | 蒲 郡       | 95.73  | 3           | 79           | 80     | 1      |
|         | 名古屋西  | 97.93  | 4           | 148          | 154           | 6      |         | 奥 三 河     | 94.35  | 4           | 39           | 39     |        |
|         | 名古屋大須 | 98.18  | 4           | 95           | 98            | 3      |         | 新 城       | 95.33  | 3           | 63           | 65     | 2      |
|         | 名古屋名南 | 100.00 | 4           | 81           | 83            | 2      |         | 田 原       | 97.05  | 3           | 72           | 73     | 1      |
|         | 名古屋名駅 | 97.00  | 5           | 97           | 101           | 4      |         | 豊 橋       | 99.79  | 4           | 130          | 130    |        |
|         | 名古屋東南 | 99.38  | 4           | 81           | 86            | 5      |         | 豊橋ゴールデン   | 100.00 | 3           | 83           | 83     |        |
|         | 名古屋栄  | 98.72  | 4           | 76           | 78            | 2      |         | 豊 橋 北     | 99.76  | 4           | 114          | 117    | 3      |
|         | 名古屋西南 | 100.00 | 4           | 46           | 55            | 9      |         | 豊 橋 南     | 97.73  | 4           | 87           | 87     |        |
|         | 計     | 98.95  | －           | 1,355        | 1,417         | 6 2    |         | 豊 川       | 100.00 | 5           | 76           | 81     | 5      |
| 名古屋第二分区 | 名古屋千種 | 99.25  | 4           | 67           | 69            | 2      | 西三河第一分区 | 豊川宝飯      | 97.46  | 4           | 68           | 71     | 3      |
|         | 名古屋東  | 98.28  | 3           | 115          | 119           | 4      |         | 田原パシフィック  | 96.96  | 4           | 66           | 66     |        |
|         | 名古屋北  | 99.37  | 4           | 114          | 113           | － 1    |         | 計         | 97.30  | －           | 940          | 958    | 1 8    |
|         | 名古屋名北 | 100.00 | 5           | 75           | 78            | 3      |         | 岡 崎       | 100.00 | 4           | 111          | 120    | 9      |
|         | 名古屋名東 | 98.29  | 4           | 67           | 73            | 6      |         | 岡 崎 東     | 98.93  | 4           | 81           | 82     | 1      |
|         | 名古屋守山 | 96.79  | 4           | 89           | 89            |        |         | 岡崎城南      | 99.35  | 4           | 78           | 79     | 1      |
|         | 名古屋昭和 | 98.17  | 4           | 67           | 70            | 3      |         | 岡 崎 南     | 99.68  | 4           | 111          | 114    | 3      |
|         | 名古屋和合 | 100.00 | 5           | 112          | 117           | 5      |         | 豊 田       | 98.08  | 4           | 97           | 102    | 5      |
| 東尾張分区   | 計     | 98.77  | －           | 706          | 728           | 2 2    | 西三河第二分区 | 豊 田 東     | 98.22  | 4           | 92           | 89     | － 3    |
|         | 犬 山   | 100.00 | 4           | 78           | 85            | 7      |         | 豊 田 西     | 100.00 | 5           | 102          | 106    | 4      |
|         | 岩 倉   | 93.29  | 4           | 44           | 44            |        |         | 豊田三好      | 99.19  | 5           | 29           | 31     | 2      |
|         | 春日井   | 100.00 | 3           | 84           | 85            | 1      |         | 計         | 99.18  | －           | 701          | 723    | 2 2    |
|         | 小 牧   | 94.94  | 4           | 70           | 70            |        |         | 安 城       | 90.34  | 3           | 95           | 94     | － 1    |
|         | 江 南   | 98.57  | 4           | 72           | 73            | 1      |         | 碧 南       | 99.75  | 5           | 81           | 87     | 6      |
|         | 名古屋空港 | 98.51  | 4           | 70           | 70            |        |         | 一 色       | 100.00 | 4           | 53           | 54     | 1      |
|         | 尾 張 旭 | 99.01  | 3           | 68           | 68            |        |         | 刈 谷       | 100.00 | 4           | 88           | 95     | 7      |
|         | 瀬 戸   | 99.76  | 5           | 80           | 85            | 5      |         | 知 立       | 100.00 | 5           | 55           | 56     | 1      |
|         | 瀬 戸 北 | 99.04  | 4           | 68           | 70            | 2      |         | 西 尾       | 97.94  | 4           | 79           | 80     | 1      |
|         | 豊山一城北 | 100.00 | 4           | 59           | 60            | 1      |         | 西尾KIRARA  | 99.35  | 3           | 62           | 62     |        |
|         | 計     | 98.31  | －           | 693          | 710           | 1 7    |         | 高 浜       | 99.04  | 4           | 53           | 54     | 1      |
|         |       |        |             |              |               |        |         | 計         | 98.30  | －           | 566          | 582    | 1 6    |
| 地区内クラブ数 |       |        |             | 73 R C       | '95. 7. 1 会員数 |        | 6,012名  | 増 加 会 員 数 |        | 185名        |              |        |        |
|         |       |        |             |              | 当月末会員数        |        | 6,185名  | 減 少 会 員 数 |        | －12名        |              |        |        |
|         |       |        |             |              | 当月平均出席率       |        | 98.49%  | 差引純増会員数   |        | 173名        |              |        |        |